令和8年産 レンゲ米栽培ごよみ(県認証米)

品種　夢つくし

ＪＡふくおか嘉穂本所営農センター ☎24-7093
飯塚普及指導センター ☎23-4154

月	4			5			6			7			8			9		
旬		中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	
普通期 生育期間				は種	育　苗		田植	活着期	有効分けつ期	無効分けつ期	幼穂形成期		出穂期	穂揃期	登熟期間	成熟期		
普通期 主な作業							浅　水		間断灌水	中干し	間断灌水		浅　水		間断灌水	落　水		

・土壌改良資材施用
・レンゲすき込み(基肥)
・温湯消毒
・箱施薬①
・田植(6/5～6/10)
・除草剤処理②
・落水(ガス抜き)(半日～1日程度干す 除草剤散布後7日頃)
・中干し・溝切り
・穂肥(出穂前28～25日)
・(補正防除)紋枯病対策
・防除時期③ 穂いもち病
・(状況に応じて2回散布)ウンカ・カメムシ防除④
・収穫

※田植後30日目頃から中干しを開始し、田面がやや硬くて黒く、小さな亀裂が入る程度を目安として実施する。
田面が白く、大きな亀裂が入るような強い中干しはおこなわないよう注意する。

水管理:除草剤散布後7日頃落水(ガス抜き)を行い、根の機能促進と分げつ促進を図ります。

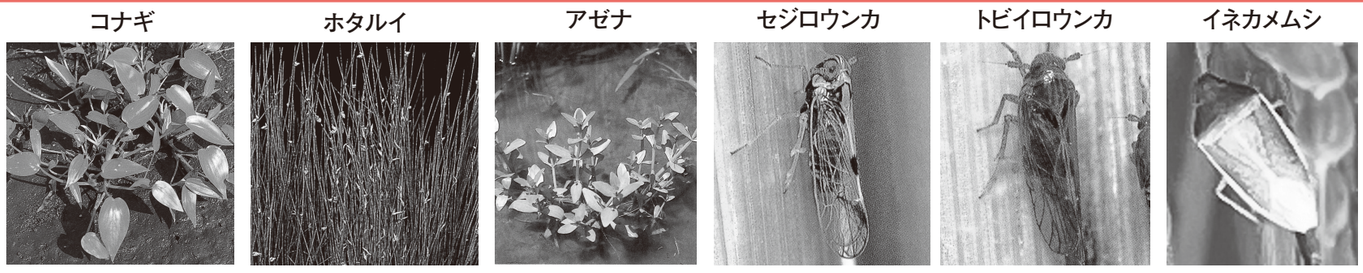
収穫適期(黄褐色籾70～80%)

収穫早限
黄褐色籾比率70%
籾水分28%

収穫晩限
黄褐色籾比率80%
籾水分24%

・適期収穫に努めましょう。

主な雑草及び害虫



イネカメムシ対策

イネカメムシは出穂後の幼い籾の基部を吸汁することから不稔籾発生の要因となります。対策として出穂期防除(1回目)、出穂期から10～14日後の防除(2回目)が効果的です。

①箱施薬　次のいずれか1つを選択

名　称	使用量	使用時期	対象病害虫
ブーンクロノス箱粒剤	1箱あたり50g	播種時(覆土前)～移植当日	いもち病、ウンカ類、もみ枯細菌病、イネミズゾウムシ幼虫、イネドロオイムシ、コブノメイガ、ツマグロヨコバイ
ブーンハーデス箱粒剤 ※紋枯病に効果あり			いもち病、ウンカ類、もみ枯細菌病、イネミズゾウムシ幼虫、イネドロオイムシ、コブノメイガ、ツマグロヨコバイ、紋枯病

※育苗センターの苗(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリ)は箱施薬(ブーンクロノス箱粒剤)入りです。
田植前に箱施薬を散布する必要はありません。

②除草剤使用基準　次のいずれか１つを散布

種　類	名　称	10a当たり使用量	使用時期
粒剤(※田植同時処理可)	ガツントZ1キロ粒剤	1kg	田植時～12日(ノビエ3.5葉期まで)
	プライオリティ1キロ粒剤		田植時～12日(ノビエ3.5葉期まで)
	オイカゼZ1キロ粒剤		田植時～10日(ノビエ3.0葉期まで)
フロアブル(※田植同時処理不可)	ガツントZフロアブル	500mℓ	田植後3日～12日(ノビエ3.5葉期まで)
	オイカゼZフロアブル		田植後5日～10日(ノビエ3.0葉期まで)
ジャンボ	ガツントZジャンボ	10パック	田植後3日～12日(ノビエ3.5葉期まで)
	プライオリティジャンボ		田植直後～12日(ノビエ3.5葉期まで)
	オイカゼZジャンボ		田植後5日～10日(ノビエ3.0葉期まで)
楽粒	ワザアリ楽粒	250g	田植直後～10日(ノビエ3.0葉期まで)

※除草剤処理後1週間は田面が露出しないようにすると効果が安定する。

〔スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)対策〕

(使用しても化学合成農薬成分にカウントされません。)

名　称	10a当たり使用量	使用方法	備　考
スクミンベイト３	2～4kg	湛水散布	浅水にして、水口、深いところ等タニシの集まる所にスポット処理も有効

その他対策:生貝の捕殺、卵塊の圧殺、取水口への網設置、浅水管理、厳冬期の耕起等

○施肥基準

時期	すき込み時のレンゲの生育状況		基肥＋穂肥の施肥体系(10a当たり)		基肥一発肥料の施肥体系(10a当たり)
	4月下旬～5月上旬(開花最盛期、田植1ヵ月前)すき込み		福岡嘉穂ユーキくん2号	油粕ペレット	有機エムコート355
施肥	レンゲがほ場の100%～70%以上生えている	旺盛で均一に生えている	施用しない	50kg 時期:出穂28～25日前 (幼穂長0.2～0.5mm)施用	15～20kg(側条施肥:15kg)
		小さく均一に生えている	10～15kg(側条施肥:10kg)		25～30kg(側条施肥:25kg)
	70%未満～20%以上生えている	小さくまだらに生えている	15～20kg(側条施肥:10～15kg)		35～45kg(側条施肥:35kg)
	20%未満しか生えていない	ほ場の2割またはほとんど生えていない	30kg(側条施肥:25kg)		50～55kg(側条施肥:50kg)

※基肥一発肥料の場合は、穂肥時期に肥料成分が不足する場合がありますので穂肥で調整しましょう。
※福岡嘉穂ユーキくん2号、有機エムコート355の比重は0.7～0.8。

○レンゲの栽培

は　種　10月下旬～11月上旬(病害虫対策のため早播きはしない)
は種量　3～4kg/10a(湿田、遅播きは20～30%増量、湿田は、播種後排水溝を掘る)

・酸性土壌に対しては弱いので、pHは6.0以上が望ましい。
・種子が小さいためは種床の凹凸が大きいと発芽や生育にムラができやすい。地表面を均平にする。
・種子に傷を付けると吸水が早くなり発芽や生育がよくなる。
①容器に種子と同量の砂を混ぜて砂付きする。
②コンクリートの上に種子を置いて軽く板で押さえこする。
③還流式小型精米機で、10～15分間磨傷する。
・は種時にほ場が乾燥しすぎると、発芽が悪くなるので、は種は耕起後では、雨が降る前日または雨が降った翌日に行う。

○すき込み

・すき込みは、4月下旬～5月上旬のレンゲの開花最盛期頃に行う(田植1ヵ月前が目安)。
・すき込んで1週間以上は水を入れない。
・5月上旬頃の花が満開直前の時、レンゲの窒素成分が一番多くなる。
・すき込む時期が遅くなるほど窒素成分は少なくなる。
・すき込む時期が田植に近くなるほどレンゲの分解で酸素不足となり苗の活着が悪くなる。

③穂いもち病防除　次のいずれか１つを散布

	名　称	10a当たり使用量	使用時期
紋枯病対策 いもち病	ダブルカットバリダフロアブル	希釈倍率1000倍 散布液量60～200ℓ	穂揃期まで
いもち病対策	ビームゾル	希釈倍率1000倍 散布液量100～150ℓ	収穫7日前まで
	ゴウケツ1キロ粒剤	1kg	出穂5日前まで (収穫30日前まで)
	ゴウケツパック	10パック	

※防除時期:「ゴウケツは穂ばらみ期(出穂5日前)」、「液剤は出穂直前」に散布することが重要です。

④ウンカ・カメムシ防除　次のいずれか1つを散布。但し、条件を満たしている場合のみ、2つまで散布可

名　称	10a当たり使用量	使用時期	対象病害虫
エクシード粉剤DL	3kg	収穫7日前まで	カメムシ類 ウンカ類
エクシードフロアブル	希釈倍率2000倍 散布液量60～150ℓ		
スタークル豆つぶ	250g		
航空機防除(エクシードフロアブル)	希釈倍率16倍 散布液量0.8ℓ		

○補正除草剤・防除　必要に応じて次のいずれか1～2つまで散布可

	名　称	10a当たり使用量	対象雑草	使用時期
雑草が残った場合	※クリンチャーバスME液剤	1000mℓ/水70～100ℓ	ノビエ 広葉雑草 カヤツリグサ ホタルイ	田植後15日～ノビエ5葉期 但し収穫50日前まで
	※ワイドショット1キロ粒剤	1kg		田植後15日～ノビエ4葉期 但し収穫45日前まで
	クリンチャーEW	100mℓ/水25～100ℓ	ノビエ	田植後20日～ノビエ6葉期 但し収穫30日前まで
	クリンチャー1キロ粒剤	1kg		移植後7日～ノビエ4葉期 但し収穫30日前まで
	バサグラン液剤(ナトリウム塩)	500～700mℓ/水70～100ℓ	広葉雑草 カヤツリグサ ホタルイ	田植後15日～収穫45日前まで
	バサグラン粒剤(ナトリウム塩)	3～4kg		田植後15日～収穫45日前まで
紋枯病対策	リンバー粒剤	3～4kg		収穫30日前まで
	モンセレンフロアブル	希釈倍率1500倍 散布液量100～150ℓ		収穫21日前まで
葉いもち	穂いもち病対策の剤(ゴウケツ、ビーム)を使用			

※箱施薬でブーンハーデスを使用しウンカ・カメムシ対策を2回散布する予定の場合は
クリンチャーバスとワイドショットは使用できません。

特栽米の条件

※こよみに記載している肥料、農薬以外は使用できません。
※こよみ以外の肥料、農薬を使用した場合は必ず報告して下さい。(県認証より除外します。)

肥料・農薬の注文は予約購入で経済効果を上げましょう。

農薬は、散布前に必ず農薬ラベルを確認し、散布時には、天候に注意し、他の作物にかからないように散布しましょう。
この栽培暦はＪＡ米の生産基準を兼ねています。　要件を満たさない米殻は区分してＪＡに出荷しましょう。

JAふくおか嘉穂本所グリーンセンター☎24－4200
JAふくおか嘉穂南部グリーンセンター☎57－3915

令和7年11月作成

肥料・農薬・生産資材の購入はＪＡから!!

生産履歴は必ず記帳しましょう。